

## 令和4年度 基本方針

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中で、子どもたちにとっての環境も一変させ、全国大会をはじめ東北大会、県大会など多くの大会及び練習会が中止となり、バレーボールをすることさえもままならない状況が続く大変な時期を迎えています。

「子どもがど真ん中にいる」の原点に戻り、子どもたちの未来につなげる組織運営を念頭にし、今後のバレーボールの普及発展につなげるため、着実な一歩を進めていきます。

- (1) 山形県小学生バレーボール連盟は、日本小学生バレーボール連盟及び東北小学生バレーボール連盟の運営基本方針をよく理解し、小学生バレーボールの発展に努めるとともに、県大会等での活動を基盤に、「子どもがど真ん中にいる」のキャッチフレーズの元、各地区小学生バレーボール連盟の中心となるよう努めます。

また、公益財団法人日本バレーボール協会及び一般社団法人山形県バレーボール協会の運営方針を理解しバレーボール界の発展に寄与していきます。

- (2) 山形県小学生バレーボール連盟は、コロナ禍における社会においても、日頃の感染予防に努力し、安心・安全な大会運営をしていきます。

大会開催の判断については感染の状況、県教育委員会、スポーツ少年団本部、県バレーボール協会、日本小学生バレーボール連盟の要請等を踏まえた対応とします。

また、大会を開催する場合は、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに則り、感染防止対策の徹底に取り組み、感染、事故のない運営に取り組みます。

- (3) 日常の活動については、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿った活動とすることを各チームに要請し、また、指導者及び保護者との連携を図り、感染予防の対策に取り組みすべての人たちの健康を守ることに努めます。

- (4) 山形県小学生バレーボール連盟は、体罰・暴力・暴言・ハラスメントのトラブルを排除し、子どもたちにとって明るく楽しく感じる練習や大会ができるように努めていきます。

また、指導者と保護者が一体となって円滑なチーム運営ができるよう、指導者は「理想の指導者」を目指し、保護者は子どものよきサポーターであると同時に、無理・無謀な指導から子どもを守る役割を果たすよう指導していきます。

- (5) 小学生バレーボールの普及・発展には、指導者・審判・役員等の人材育成は不可欠です。新型コロナウイルス感染症の拡大で実施できなかった審判研修会、指導者取得講習会等の取り組みを進め、審判・指導者をはじめ小学生バレーボール連盟に関わるすべての方々が、「分かり合い、分かち合う」相互理解の中で、組織を支える人材の育成を図ります。

- (6) バレーボール競技者人口が減少しているなかで、新たにバレーボールを始める子どもを増やすことに力を注ぎます。そのために、県小学生バレーボール連盟のホームページを改修して多くの人々に情報を発信していきます。